

掛屋剛志氏

生まれながらに視覚・知的等の複合障害を持つ剛志さんの透き通った歌声は聴くすべての人の心に大きな感動を与えます。



平成4年6月6日 長崎県出身

視力障害、知的障害、低血糖症、成長ホルモン分泌異常など、多数の障害を併せ持ち、小学校は盲学校で過ごす。成長は遅いものの、幼少時からリズムや音楽に興味を持つ。ピアノを弾くようになると、耳から入った曲を瞬時に演奏するという才能を披露し両親を驚かせる。幼い頃より、音楽に秀でた才能を発揮し、オリジナル曲は数百曲におよび、独創性のあるピアノ、パーカッション、澄んだ歌声など、音楽の才能は計り知れない。

2005年5月、NPO法人日本バリアフリー協会主催の障害者コンサート全国大会（ゴールドコンサート）にノミネートされ、最年少ながら、オリジナル曲「むかし」で作曲家の平尾昌晃さんより審査員特別賞を受賞。同年8月には、日本テレビ「24時間テレビ」において、日本武道館で熱唱。全国から反響が寄せられた。

父親の孝志氏がステージの進行役を務める。小・中学校でのコンサートでは、各学校の校歌を演奏し一緒に歌う、事前にCDを送ってもらい子供たちとコラボするなど、楽しい演奏会と評判。演奏を聴いてもらい、拍手をもらうことが生き甲斐という剛志さん。『ぼくの演奏を聴いて上手だったら拍手をくださいーい』、心を打つ音楽と彼の純粋さに多くの人が拍手を送る。



コンサートの様子

両親が成長の記録をまとめた本「君に逢えて本当によかった」（日本文芸社）の出版、CD「やすらぎの時代へ」「ツ・ヨ・シの夢」（HMSレコード）の発売など、活動の場が広がる。



君に逢えて本当に
よかった
(日本文芸社)



やすらぎの時代へ
(HMSレコード)



ツ・ヨ・シの夢
(HMSレコード)